議会だより

6月定例会

老人保健特別会計補正予算案
一般会計補正予算案など
六議案を審議可決

町議会6月定例会は23日(火)から29日(月)まで開かれました。辞職した10人と病気で欠席した1人を除き、繰り上げ当選の2人を含む17人が出席、6議案を審議し、いずれも可決されました。主なものは、62年度の一般会計、老人保健特別会計の補正予算案などです。請願は4件上程され、4件とも採択、陳情された2件も採択されました。一般質問には3人の議員が立ち、道路行政、交通安全、役場職員人事、新潟市との合併などについて町長にただしました。また、7月20日(月)に臨時議会が開かれ、大野小大規模改修工事の請負契約等について議決されました。

議案

■黒埼町監査委員の選任について　(議案第39号)

佐藤寅一氏(70歳大野)の選任について同意を得た。

■町道路線の廃止　(40)

山田4号線、山田5号線、金巻9号線を廃止。

■町道路線の認定　(41)

金巻9号線の付替え道路として認定。

■都市計画道路3・3・517号小針線道路の管理による新潟市道認定の承諾　(42)

小針線のうち黒埼町内を通過する部分を新潟市道としたいとする新潟市長からの申し入れを承諾。

■昭和62年度一般会計補正予算(第1回)　(43)

1億3392万9千円を増額し総額35億8892万9千円に。

補正された主なもの

〔歳出〕　新農業構造改善事業費3130万円減　町道拡幅用地買収費1623万3千円　大野都市下水路築造工事費1億76万円　前川原ポンプ場用地買収費1059万円　2361万4千円を増額し総額9億3539万3千円に。

■昭和62年度老人保健特別会計補正予算(第1回)　(44)

同工事を指名競争入札で、㈱植木組新潟支店(新潟市八千代一丁目)と6500万円で契約した。

■大野小学校校舎大規模改修工事請負契約締結について　(議案第45号)

第5回臨時議会(7月20日)

■農業委員の推薦について

議会が推薦する学識経験を有する者として白川耕(善久52歳)、山際信三(木場50歳)の二名を推薦

請願

すべて採択されました

■昭和62年度米穀政策・政策価格及び米の市場開放阻止に関する請願書　(請願第3号)

提出者　黒埼町農業協同組合組合理事長　本間春市

昭和六十二年度米穀・政策価格及び米の市場開放阻止の実現のため、意見書を提出してほしい。

■生産者米価引き下げに反対し、米価の大幅引き上げと食糧・農業を守る請願　(4)

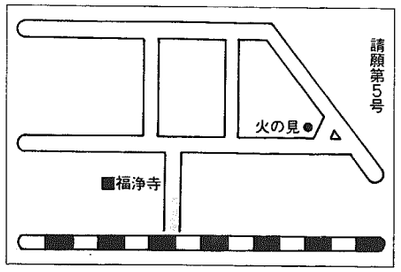
提出者　新潟県農団連会長　湯浅豊治

生産者米価引き下げに反対し、米価の大幅引き上げと食糧・農業を守るため、意見書を提出してほしい。

■町道の拡幅改良舗装に関する請願書　(5)

提出者　板井部落総代　高橋仁治郎　他4名

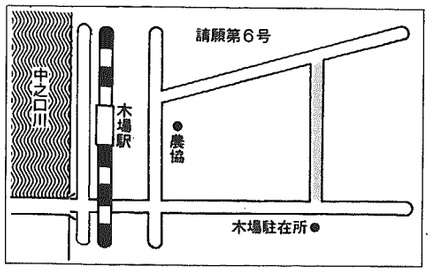
地域住民の利用度の高い町道板井14号線とたびたび水被害を受ける町道板井15号線を改良舗装してほしい。



■町道改良舗装に関する請願書　(6)

提出者　村井利幸　他4名

県道西川線と町道木場川前線を結ぶ道路は通学・通勤者の多い重要な生活道路で、排水溝も整備されていないので改良してほしい。



陳情

すべて採択されました

■町道認定並びに舗装に関する陳情書　(陳情第1号)

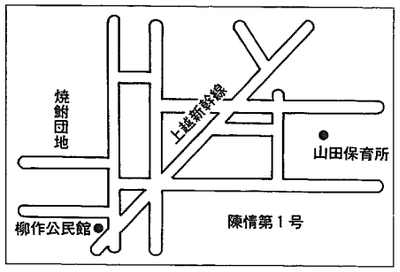
提出者　柳作総代自治会長　鈴木貞吉　他2名

通勤、通学等の交通量が増加している前川原地区の生活道路は砂利敷き、除雪等で苦慮しているので、町道認定と舗装をしてほしい。

■農畜産物12品目、牛肉、かんきつに関する現行国境調整措置の継続、アメリカ米輸入圧力の排除に関する陳情書　(2)

提出者　黒埼町農業協同組合組合長理事　本間春市

日米間の貿易摩擦は工業製品の集中的な輸出が原因であり、農畜産物の輸入拡大によって解消するものでないから、農業を国の基幹産業として位置づけるとともに、日本農業の発展と国民食料の安定確保を図るよう意見書を提出してほしい。



日程

6月23日(火)　会議録署名議員の指名。会期の決定。諸般の報告。議案の上程。議案の説明、質疑、討論、採決。

24日(水)、25日(木)　休会

26日(金)　一般質問

27日(土)、28日(日)　休会

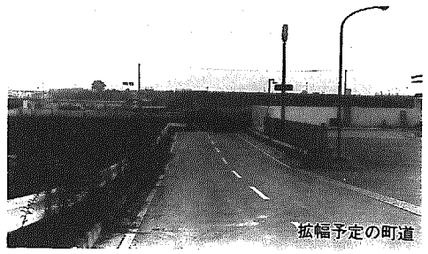
29日(月)　議案の質疑、討論、採決。請願・陳情の上程、質疑、討論、採決。

一般質問(要旨)

山田12号線拡幅用地の買収価格は佐川急便と同じ、3万2066円

A議員　公務員の理念と道路行政について①町道拡幅の基本的な考えについては、住民が必要としても町が必要としなければ拡幅しないというのが今まで普通であったが。②佐川急便の用地買収による町道山田12号線拡幅用地の面積と単価および総額は。トラックステーションの時と方法が違うと言われているが。③佐川急便の山田地内、用地買収の終了を祝って催された懇親会に町長以下役場関係者五人が出席した理由は。同席した住民から不快感を持たれたと言われているが。

町長　①町道拡幅については言われたとおり。産業のバロメーターであるので、地域と地域を結ぶもの、あるいは黒埼は新潟市へ向かう扇の要(かなめ)なので国県道との接続を考えて取り組んでいきたい。③企業誘致は町の活性化と税収の伸びにつながるので佐川急便の誘致に全力をあげた。二年近い交渉のすえ、妥結し、契約の調印という意味あいから案内があったので内部で協議し、出席した。


拡幅予定の町道

助役　②買収面積は二四五・五八平方㍍、一平方㍍あたり三万二〇六六円で、計七八七万四七六五円だった。佐川急便の用地買収価格と同じでないと応じられないというのでこのような価格になった。町としても不本意であった。なお、トラックステーションの用地買収価格は一平方㍍あたり二万八千円であった。

土建業者の指名はどのように指名委員会の協議の元に決定

A議員　土建業者の①指名基準について、どのように考えているか。②元請業者に下請業者を指示しているといわれているが、本当か。③町の職員が業者に名刺の持ってきたが足りないといったというが何を意味するのか。

町長　施工能力の点で大手業者に頼んでいる。特に、国県の事業では責任施工のできる業者でなくてはならない。しかし、地元業者の育成のため、できれば地元業者採用をお願いしたいと考えている。ただ、業者名まで指示することはない。③そういうことがあれば十分に注意する。

助役　①指名基準は設けていない。指名委員会の協議のもとに決定している。③課長会議できいたところ、職員にそういうことはないとのことである。

寺地地内の交通安全対策を早急に小針街路開通まで歩道整備を図る

A議員　寺地地内の町道寺地立仏線と交通安全教育センターの交差点の交通安全確保についてどう考えているか。早急な対策をお願いしたい。

総務課長　一自治体だけの施策は難しい。本町でも非常に交通環境、条件の悪いところで、対策に苦慮している。小針街路がまもなく開通するので、抜本的な策となる。当面の措置として歩道の整備を図っている。横断歩道、カーブミラーも増設する。個人の善意で街頭指導が行われている。また、立看板を立てることも考えている。

建設課長　小針線は今年の十二月に供用開始する。全線開通は六十四年度の見込み。

乳幼児検診を北部公民館でやっては検診の対象者が増えたなら考えたい

A議員　乳児・幼児検診を複数の場所でやっていただきたい。特に北部地区公民館がせっかくできたのだから、そこでもやってはどうか。

幼児検診

保健衛生課長　3月から環境改善センターで行っているので、中央公民館で行っていたときより歩く距離が伸びたかもしれない。しかし、不便だという話はきていない。乳児幼児検診は一回に四十名程度が対象であり、医師の配置を含め、増やす考えはない。全町を対象に行うものなので、北部地区公民館で行うのはかえって不満の声が出るのでは。対象者がふえれば二カ所で行うことも考えたい。

役場の職員状況は。新採用あるか不足は臨時職員で。退職分は補充

B議員　役場の職員人事について①今年度、保健婦の欠員補充で見込みをつけた臨時職員が採用されなかったがなぜか。②夫婦職員だと昇任、昇格で差別するときいているがそうした差別扱いはないか。③六十歳定年制が施行されているが、勧奨退職はあるのか。④今年四月の異動で保健衛生課の女子職員三人が住民福祉課へ移されたが、人事異動は